

第35期

神奈川県生産性本部

# 生産性「トップマネジメント・クラブ」朝食会

～政治・経済・社会をよむ～



コリア・レポート  
創刊者・編集長

辺 真一氏



四季株式会社  
代表取締役社長

吉田 智誉樹氏



カルビー株式会社  
代表取締役会長  
兼 CEO

松本 晃氏



慶應義塾大学  
総合政策学部  
教授

中山俊宏氏



国際大学  
グローバルコミュニケーションセンター  
客員研究員

林 雅之氏

## ご参加のおすすめ

社会・経済を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、多様化しています。これまでの価値観や意思決定システムだけでは、変化に対応しきれません。自組織が国内外の新しい勢力地図の中で存在意義を発揮し続けることが重要です。

神奈川県生産性本部では、各界の組織トップの皆様へ、絶えず変革を続け新しい価値を創出するための広い視野を持ち続けていただくひとつの場として、本会を開催いたしております。

ぜひこの機会をご活用いただきたく、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 開催概要

期 間 2016年5月～9月（毎月1回） 午前8:00～10:00

内 容 朝食・懇談、講演、質疑応答

対 象 企業の経営トップ・幹部、労組、団体、自治体の幹部

\*二世経営者の人的交流にもご活用ください。

\*ご都合がつかない回は代理出席も可能です。

会 場 「横浜ロイヤルパークホテル」（横浜ランドマークタワー70階）

横浜市西区みなとみらい2-2-1-3

TEL 045-221-1111（代表）



## 参加要領

参加費 会員 97,200円 一般 129,600円  
(1名1期5ヵ月分、朝食代、資料費、消費税を含む)

○参加お申込みは、巻末の「参加申込書」に所要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申込み下さい。

○ご本人が出席できない場合は、代理出席も可能です。

○日本生産性本部の賛助会員の皆様も「会員価格」でご参加いただけます。

神奈川県生産性本部

# 神奈川県生産性本部

## 第35期 生産性「トップマネジメント・クラブ」朝食会

2016年5月～9月



**2016年 5月例会 5月11日(水)**

講師：コリア・レポート 創刊者・編集長 辺 真一 氏

テーマ：『朝鮮半島をめぐるアジアの展望』

我が国と韓国、北朝鮮との関係における問題点とその解決方法を確認しながら、朝鮮半島をめぐる今後のアジアの政治・経済の展望について伺います。



**6月例会 6月15日(水)**

講師：四季株式会社 代表取締役社長 吉田 智誉樹 氏

テーマ：『感動を創出し続ける思いと仕組みづくり』

観る人に感動を与え続ける『劇団四季』。演目や演技自体の素晴らしさに加え、それを支える組織や経営にも理由があります。JCSI(日本版顧客満足度指数)のCS総合で2年連続1位の同社にその要諦を伺います。



**7月例会 7月 7日(木) ※木曜日の開催です。ご注意ください。**

講師：カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEO 松本 晃 氏

テーマ：『戦略実行と経営改革』

これまで数多くの経営改革で大きな成果を残してこられた実績から、戦略を着実に実行することの重要性など、経営の原理原則についてお考えをご披露いただきます。



**8月例会 8月24日(水)**

講師：慶應義塾大学 総合政策学部 教授 中山 俊宏 氏

テーマ：『日米関係 今後のゆくえ』

防衛問題、TPPをはじめとする経済・貿易問題、大統領選の情勢と米国政治経済の行方など、山積する不透明な課題を日米関係に精通する同氏に整理・解説していただきます。



**9月例会 9月14日(水)**

講師：国際大学 グローバルコミュニケーションセンター 客員研究員 林 雅之 氏  
(NTTコミュニケーションズ勤務)

テーマ：『ハイテク社会の進展～人とテクノロジーの共創』

産業社会における最先端技術をご紹介いただきながら、人とテクノロジーの適正分担による共創状態と、更なる生産性向上の達成についてお話を伺います。

### <ご参考：前期(第34期)プログラム> 2015年11月～2016年3月開催

11月例会『組織の潜在能力を引出す変革のマネジメント』 横浜マリノス(株) 代表取締役社長 嘉悦 朗 氏

12月例会『新規事業の創造～地域産業と金融機関のマッチング～』 リッキービジネスソリューション(株) 代表取締役/神奈川県 政策顧問 澁谷 耕一 氏

1月例会『組織トップとしてガンと闘う姿勢』 山王病院 副院長 奥仲 哲弥 氏

2月例会『日本政治の行方～これからの政治・外交をどうとらえるか～』 NHK 解説副委員長 島田 敏男 氏

3月例会『企業不祥事を防ぐリスクマネジメント』 警察大学校 警察政策研究センター 主任教授 樋口 晴彦 氏

## これまでご出講頂いた講師陣(順不同敬称略)注)所属役職は出講当時

### 特別講師 寛仁親王殿下

諸井 虔	地方分権推進委員会委員長	公文 俊平	国際大学 教授	鈴木 忠雄	メルシャン社長
木村尚三郎	東京大学 名誉教授	佐瀬 昌盛	防衛大学校 教授	中村 輝夫	日本化薬 社長
鷺尾 悦也	連合 会長	奥谷 禮子	ザ・アール 社長	浅見 隆行	アサミ法律事務所弁護士
藤井 裕久	民主党代表代行	笹森 清	連合 事務局長	神代 和俊	元横浜国立大学 教授
浅川 博忠	政治評論家	佐々木 元	日本電気 会長	河野 洋平	前外務大臣
川上 哲郎	住友電気工業 会長	高木 剛	連合 会長	蛭田 史郎	旭化成最高顧問
福原 義春	資生堂 名誉会長	樋口 公啓	東京海上火災保険 会長	古賀 伸明	連合 会長
野坂 昭如	作家	豊倉 一	プロ野球セリーグ 会長	松田 昌士	JR東日本 会長
若杉 敬明	東京大学 教授	五味 廣文	元金融庁 長官	坂東眞理子	昭和女子大学 学長
山岸 章	元連合 会長	常盤 文克	花王 前会長	山崎 拓	自由民主党前副総裁
茂木友三郎	キッコーマン 社長	徳川 恒孝	徳川宗家第18代当主	桜田 高明	サービス流通連合 会長
青井 路子	作家	藤村 博之	法政大学大学院 教授	西尾 進路	新日本石油 社長
青井 倫一	慶応義塾大学 教授	宮脇 昭	国際生態学センター 所長	諏訪 康雄	中央労働委員会 会長
石原 信雄	前内閣官房副長官	兼子 勲	日本航空 会長	松沢 成文	神奈川県知事
北川 正恭	前三重県知事	人見 一夫	自治労 委員長	奥寺 康彦	横浜FC GM
和田 明広	アイシン精機 会長	林 道義	東京女子大学 教授	垣添 直也	日本水産 社長
辺 真一	コリア・レポート編集長	岩国 哲人	衆議院議員	五百旗頭真	防衛大学校 校長
宮村 眞平	三井金属鉱業 会長	今野 由梨	ダイヤルサービス 社長	寺島 実郎	三井物産戦略研究所長
佐々木 毅	東京大学 総長	泉田 和洋	電機連合 書記長	北城恪太郎	前経済同友会 代表幹事
澤 昭裕	東京大学 教授	宮城まり子	立正大学 教授	平 朝彦	海洋研究開発機構構理事長
岸井 成格	毎日新聞特別編集委員	高橋 忠生	日産自動車副会長	野副 州旦	富士通 社長
森田 実	政治評論家	梁瀬 行雄	オリックス社長	岩井 奉信	政治評論家
有馬 利男	富士ゼロックス 社長	森本 敏	拓殖大学 教授	松尾 邦弘	前検事総長
佐藤ゆかり	自民党副幹事長	久保田 隆	千代田化工建設社長	千葉 景子	法務大臣
行天 豊雄	国際通貨研究所長	春日 武彦	精神科医・作家	岩田 公雄	読売テレビ特別解説委員
袴田 茂樹	青山学院大学 教授	長尾 年恭	東海大学地震予知センター長	具志堅幸司	日本体育大学教授
林 文子	元ダイエー 会長	松沢 幸一	キリンビール 社長	中村 胤夫	元三越社長
岡田 克也	民主党副代表	小川 孔輔	法政大学教授	一色 誠一	JX日鉱日石エネルギー社長
老川 祥一	読売新聞東京本社 社長	茂木賢三郎	日本芸術文化振興会理事長	田中 均	元外務審議官
小林陽太郎	富士ゼロックス元 会長	小池百合子	自由民主党総務会長	増田 寛也	元総務大臣
大橋 光夫	昭和電工 会長	石 平	評論家	村木 厚子	厚生労働省事務次官
志賀 俊之	日産自動車最高執行責任者	渡辺 喜美	みんなの党 代表	大田 弘子	政策研究大学院大学教授
石破 茂	自由民主党政調会長	服部 幸應	服部学園理事長	猿丸 雅之	YKK 社長
安倍 晋三	元内閣総理大臣	大宅 映子	評論家	野田 毅	自由民主党 税制調査会会長
橋本 五郎	読売新聞特別編集委員	小川 和久	軍事評論家	野田 聖子	自由民主党 衆議院議員
野中ともよ	ガイアエンシアティブ代表	野田 佳彦	前内閣総理大臣	酒巻 久	キヤノン電子 社長
グロウ・フジマ	エアバス・ジャパン会長	丹羽宇一郎	前中国特命全権大使	木村 康	JXホールディングス 会長
高村 正彦	自由民主党 副総裁	山本 忠人	富士ゼロックス 社長	前原 誠司	民主党 衆議院議員
甘利 明	経済再生担当大臣	江畑 謙介	軍事評論家	嘉悦 朗	横浜マリノス 代表取締役社長
高市 早苗	自由民主党政調会長	羽田 孜	元内閣総理大臣	澁谷 耕一	リッキーズ・ソリューション 代表取締役/神奈川県 政策顧問
森 喜朗	元内閣総理大臣	落合 清四	U-1ゼンセン同盟 会長	奥仲 哲弥	山王病院 副院長
歌田 勝弘	味の素 相談役	三東 崇秀	栗田工業 社長	島田 敏男	NHK 解説副委員長
椎名 武雄	日本アイビーエム最高顧問	香山 リカ	精神科医	樋口 晴彦	警察大学校 主任教授
清家 篤	慶応義塾 塾長	安崎 暁	小松製作所 前会長		
石丸 典生	デンソー 会長	福川 伸次	電通 顧問		

## これまでにご参加いただいている企業・労組・団体等の例(順不同)

崎陽軒、日産自動車、住友電気工業、日本通運、ネエチア、横浜ステーションビル、プロフェッショナルネットワーク、三洋化成製作所、ケイヒンコンテナ急送、多摩川電子、運輸労連、インテック・ジャパン、富士通ワイエフシー、キリンビール、情報労連、パナソニックオートモーティブシステムズ労組、東京電力、パナソニックモバイルコミュニケーションズ労組、イシカワ、横浜ロイヤルパークホテル、住電オプコム、東京電力労組、鶴見精機、電機連合、自治労、日本海洋事業、連合神奈川、日本超低温、日産労連、東亜道路工業、三菱地所、横浜マリノス、横浜労災病院、ヨコシネDIA、アール・エス・シー、横浜市、住電ハイプレジション、さくらフレンド証券、オムロン、神奈川県教職員組合協議会、神奈川トヨタ自動車、花王、日本アイ・ビー・エム、労働者健康福祉機構、JFEスチール京浜労組、東京ガスライフサービス、北辰工業、欧印舎印刷所、朝日システム・エージェンシー、松下電器産業労組、神奈川リコー、東洋製作所、オムロンテクノカルト、中川特殊鋼、関東労災病院、セイノーロジックス、味の素労組、日本生産性本部、大和テレビシステム、松下電器産業、資生堂、ホテル京急、一幸電子工業、浜銀総合研究所、JFEテクノリサーチ、日立テクニカルコミュニケーションズ、鶴見倉庫、自動車総連、富士通労組、ユーコービジネスマシン、リコー販売、横浜グランドインターコンチネンタルホテル、マリン・ワーク・ジャパン、三菱重工労組、UAゼンセン、サガミ、味の素システムテクノ、タンガロイロジテック、ハマ住YSグループ、西濃運輸、三菱重工業、大洋建設、OBARA、日本貿易印刷、横浜FM放送、升喜、湘南衣笠ゴルフ、教育ソフトウェア、信和商会、関東電工、ケンコーボレーション、富士ゼロックス神奈川、ビー・エム・ピー、東電同窓電気、パナソニックITSフレンドシップユニオン、パナソニックシステムネットワークス労働組合

FAX:045-680-1864

## 第35期 生産性「トップマネジメント・クラブ」朝食会 参加申込書

2016年5月～9月

貴組織名

〒

ご住所

電話

FAX

E-mail

連絡担当者  
(部署・役職)

お名前

&lt;会員確認欄&gt;

該当に  を付けてください。

参加費

- |                                      |          |
|--------------------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> 神奈川県生産性本部会員 | 97,200円  |
| <input type="checkbox"/> 日本生産性本部会員   | 97,200円  |
| <input type="checkbox"/> 一般          | 129,600円 |

参加者お名前	所属部署／役職
ふりがな	
E-mail	
ふりがな	
E-mail	

※個人情報の取扱いについて

参加申込書によりご提供いただきました個人情報は、本会の運営に必要な関係者のみと共有し、また生産性本部が主催・実施する各事業のご案内など、貴組織に有益と思われる情報提供に利用させていただきます。

## 神奈川県生産性本部 入会のおすすめ

神奈川県生産性本部は、1956年設立以来、一貫して県下における生産性向上運動を推進してまいりました。今日企業や社会が直面する課題は山積しております。当本部は時代の要請に応えるべく生産性運動の一層の拡充・充実を目指してまいります。

現在、生産性運動は全国で約10,000の会員の皆様からご賛助いただいております。会員各位から賜りました会費は、公的に意義のある幅の広い、奥行き深い生産性運動の展開に充当し、社会に還元させていただいております。貴組織におかれましても、当本部にご入会賜り、一層の発展に資せられますと共に、生産性運動にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## お問い合わせ

神奈川県生産性本部 事務局 小林 康茂  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町4-47 リスト関内ビル  
 TEL:045-680-1863 FAX:045-680-1864  
 E-Mail:yasushige.kobayashi@jpc-net.jp  
<http://www.kanagawapc.jp>